

# RPAについて

## 概要

- Robotic Process Automation（ロボットによる業務の自動化）の略、人間がパソコンで行っている作業を、プログラムによって自動的に処理する技術
- パソコン上での複数のシステムを横断した操作・作業をRPAが人の代わりに実行することが可能
- AIとは異なり、自ら判断・学習することはできず、決められたプログラム通りにしか作動しない

## 1 RPAの活用に適する業務

- 定型的な作業(プログラムとして設定することが可能な作業)、入力、照合、メール等
- 想定される活用例
  - ・ 入力： Excelに入力されたデータの業務基幹システムへの転記
  - ・ 照合： 別ファイルに存在している情報を照合し、正誤を判定
  - ・ メール： 特定の条件に合致する職員等にリマインドメールを自動送信  
(例. 依頼物の未提出者など)

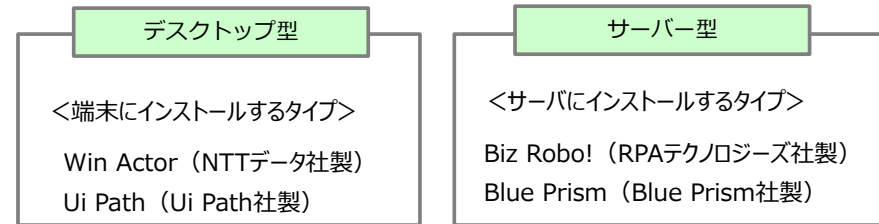
## 2 メリット

- 生産性の向上
- 品質の向上（ヒューマンエラーの削減）
- 労働時間の削減
- 人材は高付加価値なコア業務へ集中
- ⋮

定型業務の効率化に大きく貢献

## 3 ソフトウェア

- 導入にあたっては、端末やサーバーに専用のソフトウェアをインストールし、これに処理手順（シナリオ）をプログラムし、起動させる。
- RPAのソフトウェアは多数あり、大きくはデスクトップ型とサーバー型に分かれる。



## 4 導入イメージ

例：調査回答の集計

